

# ウクライナ避難民・難民支援から 多文化共生社会を考える



日時 令和4年 **8月21日(日)** 14:00~16:30

参加申込

会場 梅田スカイビル スペース36L

定員  
100名



参加費 **無料** (要事前申し込み) 定員になり次第受付終了

ロシアのウクライナ侵攻により、日本に避難してきたウクライナ避難民が増えています。避難民の多くは大きな不安を抱えており、まずは心を落ち着かせ、安定した生活を送ることができるようサポートしていく必要があります。

本セミナーでは、ポーランドに滞在しウクライナからの避難民を撮影し続けた写真家を招き、戦火を逃れてきた人々の現地の様子、生活の根底から破壊された家族の苦悩などを写真を通じてご紹介いただきます。

ウクライナ避難民の受け入れは、私たちが難民の受け入れについて世界に目を向け、日本のあり方を考える機会となっています。

難民を受け入れる地域社会、外国人と日本人がともに安心して暮らせる多文化共生社会を築くために、一人一人がどう考え行動するかを議論したいと思います。

## 内容

トーク **「ウクライナ避難民との出会い ~ファインダーを通して見えたもの~」** 小原 一真 氏 (写真家)

パネルディスカッション

コーディネーター: 田村 太郎 氏 ((一財)ダイバーシティ研究所 代表)

パネリスト: 明石 純一 氏 (筑波大学人文社会系 教授)

石川 美絵子 氏 ((社福)日本国際社会事業団 常務理事)

小原 一真 氏 (写真家、ジャーナリスト)

基調報告1 **「世界的難民の状況及び日本の経験と課題」** 明石 純一 氏

基調報告2 **「難民や外国人ルーツの人々に寄り添う支援」** 石川 美絵子 氏

※報告『難民の地域定住支援ガイドブック』と笹川平和財団の取組み紹介

同時開催

写真展 **「ウクライナ避難民とロマの人々」**

写真家 小原 一真 氏

日程: 8月18日(木)~24日(水)

会場: 梅田スカイビル

タワーイースト 3階



## プロフィール



小原 一真

Kazuma Obara

1985年岩手県生まれ。大阪府在住。写真家、ジャーナリスト。スイス・フォトエージェンシー KEYSTONE-SDAパートナーフォトグラファー。ロンドン芸術大学フォトジャーナリズム修士課程修了。

自然災害、戦争、核をテーマとして社会から見えづらくなってしまった被害者を長期的なドキュメンタリー作品として国内外で発表を行う。

主な著書に東日本大震災と福島第一原発・原発作業員を記録した写真集『RESET』（ラースミュラー出版/スイス）、太平洋戦争で被害を受けた大阪の子供たちの戦後を描いた『Silent Histories』（RM/メキシコ）。ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所事故の長期的影響を記録した『Exposure』（RM/メキシコ）など。世界報道写真賞受賞や米TIME誌年間ベスト写真集選出他、オランダ大使館、米ナショナル・ジオグラフィック協会など様々な助成を受ける。

明石 純一

Junichi Akashi



筑波大学人文社会系教授。博士（国際政治経済学）。法務省難民審査参与員等を歴任。著書に『人の国際移動は管理されるのか』（ミネルヴァ書房、2020年）など。笹川平和財団発行『難民の地域定住支援ガイドブック』監修。



石川 美絵子

Mieko Ishikawa

日本国際社会事業団（ISSJ）常務理事。社会福祉士。アムネスティ・インターナショナル日本、レフュジー・カウンシル・ジャパン（現在の「なんみんフォーラム」）を経てISSJ入職し、難民支援に携わる。笹川平和財団発行『難民の地域定住支援ガイドブック』監修。

田村 太郎（コーディネーター）

Taro Tamura

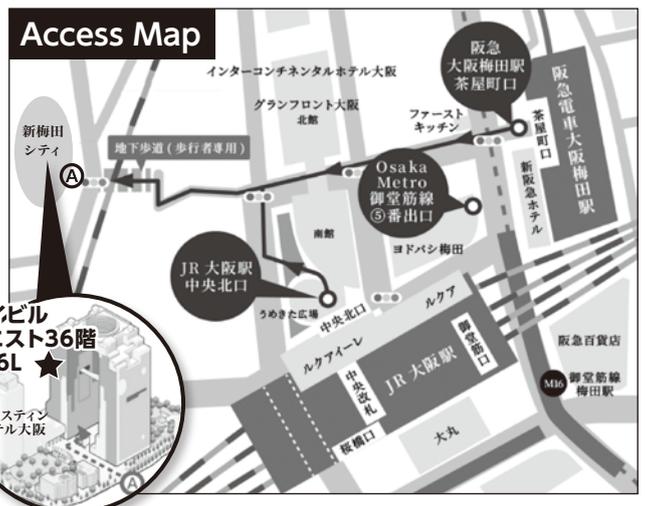


（一財）ダイバーシティ研究所代表。兵庫県生まれ。阪神大震災で被災した外国人への支援を機に「多文化共生センター」を設立。2007年から「ダイバーシティ研究所」代表として、人の多様性に配慮のある地域や組織づくりに携わる。復興庁復興推進参与、大阪大学客員准教授を兼務。共著に「多文化共生キーワード事典」「つないで支える」などがある。

## 申込み・お問い合わせ

### 公益財団法人 大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8-2-6  
TEL 06-6773-8989 FAX 06-6773-8421  
URL <https://www.ih-osaka.or.jp>



梅田スカイビル  
タワーウエスト36階  
スペース36L ★

※新型コロナウイルス感染症拡大のために、ご入場の際にはマスクの着用をお願いします。  
※新型コロナウイルスの感染状況により、内容を変更または中止する場合があります。